

坂井記念特別賞候補者の募集について	2
研究発表会開催通知	3
第 19 回情報メディア研究会	3
第 79 回記号処理研究会	4
第 52 回情報システム研究会	4
第 98 回人工知能研究会	4
第 92 回コンピュータビジョン研究会	5
第 58 回ヒューマンインタフェース研究会	5
第 102 回計算機アーキテクチャ研究会	} 合同研究会
第 73 回設計自動化研究会	
第 105 回自然言語処理研究会	7
第 35 回コンピュータと教育研究会	7
第 43 回アルゴリズム研究会	7
第 102 回ソフトウェア工学研究会	8
第 101 回データベースシステム研究会	9
第 68 回マルチメディア通信と分散処理研究会	} 合同研究会
第 9 回グループウェア研究会	
第 25 回人文科学とコンピュータ研究会	11
第 20 回プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	11
平成 7 年度の研究会について	14
「数理モデル化と問題解決研究会」発足のお知らせ	15
「プログラミング—言語・基礎・実践—研究会」と「記号処理研究会」との統合のお知らせ	16
情報処理学会「行事」・「書籍」申込書	17
第 50 回全国大会予約案内	18
「1995 年情報学シンポジウム」参加者募集	19
本会協賛等の行事案内	20
ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための最新情報テクノロジーの理論と実践	21
「情報メディア・シンポジウム '95 情報・生命・人間」参加者募集	22
IEEE との協定締結についてお知らせ	23
論文賞候補の論文推薦のお願い	24
有料会告について	24
「The Rise of Software Industry and Technology in Asia-Pacific」頒布のお知らせ	25
論文誌のご購読について	26
平成 7 年度会費および論文誌購読費の納入について	27
支部だより	28
教官募集	29
会議案内	31
編集室	32
書評・ニュース募集のお知らせ	33
海外からの送金方法について	34

坂井記念特別賞候補者の募集について

第3回（平成6年度）坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に携わっている研究・開発者で、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる39歳（平成7年3月末現在）までの研究・開発者を対象といたします。

賞の候補者を推薦される方は、下記の「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、本学会事務局まで「坂井記念特別賞候補者推薦書」用紙をご請求ください。

第3回（平成6年度）

坂井記念特別賞候補者推薦要領

- 対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。
- 候補者の対象
情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で39歳（平成7年3月末現在）までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人または、共同研究・開発の場合は、その代表者とする。
- 推薦者 本学会正会員とする。
- 推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、当学会あて1部を提出する。
- 推薦締切日 平成7年1月17日（火）必着とする。
- 選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け、候補者4名を選定し、理事会において決定する。なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合があります。
- 賞の贈呈 平成7年5月の第37回通常総会で表彰（賞状および賞金30万円を贈呈）

注）この賞の候補者を推薦される方は、下記あて推薦用紙をご請求ください。
（推薦書用紙請求先・提出先・照会先）

（社）情報処理学会 坂井記念特別賞担当係
〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

研究発表会開催通知

(平成6年12月15日～平成7年1月31日)

研究会名	日 時		会 場	詳細
音 声 言 語 情 報 処 理	12月15日 (木) 12月16日 (金)	10:00～16:40 9:00～16:40	N T T (横須賀)	前号 6頁
グラフィクスとCAD	12月16日 (金) 12月17日 (土)	9:30～17:50 9:00～17:20	岡 山 理 科 大	6頁
オーディオビジュアル複合情報処理	12月22日 (木)	10:30～16:30	早 大 (理 工)	7頁
情 報 メ デ ィ ア	1月13日 (金)	9:45～17:15	多 摩 美 大	本号 3頁
記 号 処 理	1月13日 (金)	13:40～17:00	情報処理学会 (芝浦)	4頁
情 報 シ ス テ ム	1月17日 (火)	13:30～17:15	同 上	4頁
人 工 知 能	1月18日 (水)	9:30～18:00	立 命 館 大 (草 津)	4頁
コンピュータビジョン	1月19日 (木)	8:55～17:20	龍 谷 大	5頁
ヒューマンインタフェース	1月19日 (木)	11:00～17:00	電 通 大	5頁
計算機アーキテクチャ 設計自動化] 合同	1月19日 (木) 1月20日 (金)	9:30～17:45 9:30～17:00	富士通 (川崎)	6頁
自 然 言 語 処 理	1月20日 (金)	9:45～16:30	N H K 技 研	7頁
コンピュータと教育	1月20日 (金)	14:30～17:30	情報処理学会 (芝浦)	7頁
ア ル ゴ リ ズ ム	1月23日 (月)	10:00～16:30	奈 良 先 端 大	7頁
ソフトウェア工学	1月26日 (木) 1月27日 (金)	9:00～17:50 *(21:00～23:00) 8:50～17:05	沖 縄 ハ イ ツ	8頁
データベースシステム	1月26日 (木) 1月27日 (金)	9:30～17:20 9:30～18:00	高山サイエンスプラザ	9頁
マルチメディア通信と分散処理 グループウェア] 合同	1月26日 (木) 1月27日 (金)	10:00～17:00 9:30～17:00	金 沢 工 大	10頁
人文科学とコンピュータ	1月27日 (金)	10:00～17:00	北海道開拓記念館	12頁
プログラミング — 言語・基礎・実践 —	1月27日 (金)	13:30～16:45	情報処理学会 (芝浦)	12頁

*: ナイトセッション

◆第19回 情報メディア研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 田中 謙, 幹事: 平山智史, 牧村信之, 森本英之)

日 時 平成7年1月13日 (金) 9:45～17:15

会 場 多摩美術大学 上野毛校舎 2-B7室

[東京都世田谷区上野毛 3-15-34. JR : 渋谷下車, 地下鉄 (新玉川線) : 二子玉川園下車, 東急大井町線 : 上野毛下車, 徒歩3分. Tel.(03)3702-1141]

議 題 小特集: 人文社会科学と情報メディア

— 9 : 45 ~ 11 : 45 —

(1) 日本語文書画像に対する文字列検索機能の実現

遊佐 実, 田中 謙 (北大)

- (2) 場と情報環境—バリ島の儀礼・祭祀にみられるトランスによる情報空間の変容— 伊藤俊治 (多摩美大)
— 13 : 00 ~ 17 : 15 —
- (3) 「源氏物語」ハイパーテキスト開発の試み 長瀬真理 (城西国際大)
- (4) 感性指向製品の消費者行動における他者との相互作用の役割 庄司裕子, 月尾嘉男 (東大)
- (5) 3次元ウォークスルーと電子司書を用いた電子図書館インタフェースの開発
神谷俊之, 呂山, 原雅樹, 宮井均 (NEC)
- (6) CD-ROM版オックスフォード英語大辞典 (第2版) とハイパーテキストの世界 鈴木英夫 (東大)

◆第79回 記号処理研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 小川貴英, 幹事: 天海良治, 寺田実, 湯浦克彦)

日時 平成7年1月13日 (金) 13 : 40 ~ 17 : 00

会場 情報処理学会 会議室 (芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR : 田町 (東口) 下車, 徒歩7分. または地下鉄 (浅草線, 三田線) : 三田下車, 徒歩10分. Tel.(03)5484-3535]

議題

- (1) Prolog 言語の階層処理システムとその評価 王東, 小林広明, 中村維男 (東北大)
- (2) Pipelined Execution of OR-Parallel Prolog 稲葉勉, 沈紅, 片平昌幸, 小林広明, 中村維男 (東北大)
- (3) Flow Graph 解析を用いた並列関数型言語処理系の実装 金子裕之, 中西正和 (慶大)
- (4) CLOS/MOPによるC++メタオブジェクトの実現 景山辰郎, 佐治信之 (NEC)

◆第52回 情報システム研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 山本毅雄, 幹事: 神田茂, 中嶋聞多, 初瀬川茂)

日時 平成7年1月17日 (火) 13 : 30 ~ 17 : 15

会場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議題 特集: パソコンの特性を活かしたシステム開発

- (1) パソコンをプラットフォームとしたソフトウェア開発ツール 岡本健二 (新日鉄情報通信システム)
- (2) クライアントサーバ環境におけるアプリケーション開発と開発ツールの役割 池田賢一 (日本グプタ)
- (3) ソフトウェア開発環境構築 "たちね" の実際 竹村智己 (東芝情報システム)
- (4) GUI開発ツールを利用したアプリケーション開発事例 安達正敏 (カテナ)
- (5) パソコンを用いたシステム分析・設計作業について 仲田昌弘 (NTTデータ)

*発表5件終了後に全発表者と参加者による総括質疑・全体討論を行います。奮ってご参加ください。

◆第98回 人工知能研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 中島秀之, 幹事: 加藤浩, 沼尾正行, 橋田浩一)

日時 平成7年1月18日 (水) 9 : 30 ~ 18 : 00

会場 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス コアステーション 第3会議室

[草津市野路町1916. 京都駅よりJR (東海道線) : 南草津 (約20分) 下車, バス (立命館大学行) : 終点 (8分) 下車. Tel.(0775)66-1111]

議題

— 9 : 30 ~ 12 : 30 —

- (1) タスクの位置情報に基づくスケジューリング・ルールの獲得 藤井進, 森田浩, 諏訪晴彦 (神戸大)
- (2) 概念束を用いた選言概念の逐次的学習 宮川聡, 上原邦昭, 前川禎男 (神戸大)
- (3) 帰納的学習アルゴリズムの特性解析 衣川裕史, 上原邦昭, 前川禎男 (神戸大)
- (4) 帰納推論ツール KINO の開発 森田千絵, 月本洋 (東芝)

— 13 : 30 ~ 18 : 00 —

- (5) 制約充足問題における各解法の分散協調問題解決への拡張に関する考察 内角真, 今成文明, 小川均 (立命館大)
- (6) 個体群の共通性に着目したルールベース・マルチエージェントシステムの高速処理方式 碓崎賢一, 清水浩 (九工大)
- (7) ルールベース・マルチエージェントシステムにおける集団のモデル化 松並勝, 碓崎賢一 (九工大)
- (8) 二分決定グラフを用いた三面図の効率的理解 正木寛人, 石塚満 (東大), 奥乃博 (NTT)

- (9) 対話プランニングにおける複数事例適合メカニズムについて 谷口 実, 上原邦昭, 前川禎男 (神戸大)
 (10) 積木世界での環境変化に対するプランの効率的修正 藤田智之, 小川 均, 阪本利幸 (立命館大)

◆第92回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 14件)

(主査: 松山隆司, 幹事: 井宮 淳, 谷口倫一郎, 村瀬 洋)

日 時 平成7年1月19日(木) 8:55~17:20

会 場 龍谷大学 REC ホール

[大阪市瀬田大江町横谷1-5. 京都駅よりJR(琵琶湖線): 瀬田(20分)下車, バス(龍谷大学行): 終点下車, またはタクシー(10分). Tel.(0775)43-7404 有木]

議 題

- 8:55~11:40 -

- (1) 射影回転群と擬モーメント 田中 勝 (電総研)
 (2) 固有空間法による画像特徴の対応付けを必要としない視覚サーボ手法 野口 崇, 出口光一郎 (東大)
 (3) レンジデータからの平面復元の信頼性評価 金澤 靖 (群馬高専), 金谷健一 (群馬大)
 (4) 逐次平滑修正量に基づく距離画像における平面推定の一手法 松井恵一, 金子俊一, 本多庸悟 (農工大)
 (5) 多重分散カルマンフィルタによる複数運動物体の認識 堀内一仁, 金子俊一, 本多庸悟 (農工大)
 (6) 画像濃度の統計的性質を利用した高速真偽判別方式の検討 山北 治, 山本秀樹, 宮崎敏彦 (沖電気)

- 13:00~17:20 -

- (7) 招待講演: コンピュータビジョンの将来技術での位置づけ 坂井利之 (龍谷大)
 (8) 複合視覚センサを用いた自己位置並びに環境マップ推定 江上和宏, 八木康史, 谷内田正彦 (阪大)
 (9) 複数ロボットにより観測された環境マップの統合 出原進一, 八木康史, 谷内田正彦 (阪大)
 (10) 全方位画像記憶に基づく視覚誘導 前田武志, 石黒 浩, 辻 三郎 (阪大)
 (11) 画像濃淡値変化の物理拘束モデルと変位関数展開法によるオプティカルフロー 田村進一 (阪大)
 Robert Close, James S. Whiting (セダーズ・シナイ MC)
 Jack Sklansky (カリフォルニア大アーバン校), 佐藤嘉伸 (阪大)
 (12) 部分空間法と自己組織型ネットワークを用いた複数顔領域の切り出しと認識 奥 真一, 橋詰隆平, 有木康雄 (龍谷大)
 (13) 非矩形ウィンドウによるステレオ対応法 大形英男, 岡田至弘 (龍谷大)
 (14) Computer Vision における将来展望 - Robotics における視覚研究としての Computer Vision - 石黒 浩, 鷺見和彦, 天野 晃, 浅田 稔, 渡辺 睦, 八木康史, 久野義徳 (YIUEO)
 *研究会終了後, 龍谷大学の見学会および懇親会を計画しています。(照会先: Tel.(0775)43-7404 (有木))

◆第58回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 8件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 来住伸子)

日 時 平成7年1月19日(木) 11:00~17:00

会 場 電気通信大学 西9号館 3F AVホール

[東京都調布市調布ヶ丘1-5-1. 京王線: 調布(北口)下車, 徒歩10分. Tel.(0424)83-2161 (ext.4113) 角田博保]

議 題

- グラフィカルインタフェース - 11:00~12:10 -
 (1) 仮想 OHP シートによるプレゼンテーションシステムの設計と初版の実現 玉山尚太郎, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡 (農工大)
 (2) インタラクティブ3DCGをUIに用いた情報システムの実現 増尾 剛 (NTT)
 ●インタフェースとコミュニケーション - 13:10~14:20 -
 (3) 合成音声による画像の表現 劉 小雄, 板橋秀一 (筑波大)
 (4) 四人将棋における暗黙のコミュニケーションに関する研究 杉本新也, 伊藤毅志, 古郡延治 (電通大)
 ●ダイアログ - 14:30~15:40 -
 (5) 経路方式によるアルゴリズムアニメーション 河合 謙, 徳田雄洋 (東工大)
 (6) GUIを持つシステムとユーザ間のダイアログを形式的に記述する試み 松林弘治, 辻野嘉宏, 都倉信樹 (阪大)
 ●入力インタフェース - 15:50~17:00 -
 (7) 片手打鍵かな入力法の設計と評価 井ノ口美子, 赤池英夫, 角田博保 (電通大)
 (8) 触力覚ディスプレイを内蔵したマウス型インタフェース装置によるポインティング操作 赤松幹之 (生命研)

◆第102回 計算機アーキテクチャ研究会 } 合同研究会
◆第73回 設計自動化研究会

(発表件数：22件)

ARC (主査：島田俊夫, 幹事：木村康則, 関口智嗣, 中島 浩)

DA (主査：中村行宏, 幹事：小川 泰, 松田庸雄, 安浦寛人)

日 時 平成7年1月19日(木) 9:30~17:45

20日(金) 9:30~17:00

会 場 富士通 川崎工場(クロスカルチャーセンター)

[川崎市中原区小田中1015. 川崎からJR(南武線):武蔵中原下車, 徒歩約5分. Tel.(044)754-2665 (木村)]

議 題 特集:アーキテクチャ設計支援, および一般

1月19日(木) - 9:30~11:30 -

(1) 情報抽出技術を用いたアーキテクチャ評価用シミュレーション・モデルの生成 赤星博輝, 安浦寛人(九大)

(2) 大規模論理装置に対する高速設計検証システム

高山浩一郎, 広瀬文保, 下郡慎太郎, 庄司 稔, 岩下洋哲(富士通研)

(3) CAM搭載ハードウェアエンジンとアプリケーション実装環境 前田志門, 松下 章, 大野慎介, 大附辰夫(早大)

(4) 連想メモリを用いた高並列故障シミュレーション手法 大野慎介, 前田志門, 松下 章, 大附辰夫(早大)

- 12:45~16:00 -

(5) 分割操作による論理回路のトップダウン設計手法について

大和明宏(早大), 新井浩志(千葉工大), 深澤良彰(早大)

(6) 二分決定グラフを用いたテクノロジマッピングの位相最適化手法 松永裕介(富士通研)

(7) ランダムベンチマーク例題による論理最適化システムの評価 日野健介, 岡野宏哉, 岩間一雄(九大)

(8) コンディション・ベクタを用いたコンパイラの最適化

井上昭彦, 赤星博輝, 富山宏之(九大), 若林一敏(NEC), 安浦寛人(九大)

(9) 分岐確率と広域命令スケジューリング 林 正和, 松山 学, 堀田耕一郎(富士通)

(10) 多次元データ処理用SIMD型並列計算機のアーキテクチャ

金川英一(豊橋技科大), 本沢邦朗(東芝), 塩見彰睦, 今井正治(豊橋技科大)

- 16:15~17:45 -

(11) パネル討論:計算機アーキテクチャ設計のためのCADツールの在り方 司会:安浦寛人(九大)

パネラ:今井正治(豊橋技科大), 末吉敏則(九工大), 広瀬文保(富士通研), 若林一敏(NEC)(予定)

1月20日(金) - 9:30~11:30 -

(12) パイプライン計算機における性能設計支援手法 田村恭久, 西田隆一, 伊藤 潔(上智大)

(13) ハイパスカラ・プロセッサ『中洲1号』の設計環境 宮嶋浩志, 白川 暁, 村上和彰(九大)

(14) 教育用マイクロプロセッサKITEによる設計教育事例(第2報) 末吉敏則, 田中康一郎, 久我守弘(九工大)

(15) マルチプロセッサによる分散処理を意識した専用プロセッサ設計支援システムSYARDSの構築

樋渡 仁, 白井克彦(早大)

- 12:45~17:00 -

(16) スケッチレイアウトシステムにおける配線可能性検証手法 田中秀彦, 佐藤政生, 大附辰夫(早大)

(17) 複数チャネルの配線を考慮したセルモデルに対する3層セル上チャネル配線手法

植家正博, 小出哲士, 若林真一, 吉田典可(広島大)

(18) MCM設計のためのパフォーマンスと物理的制約を考慮した回路分割手法

桂嘉志記, 小出哲士, 若林真一, 吉田典可(広島大)

(19) WSIシステムの耐雑音構成法 苔米地宣裕(八戸工大)

(20) DLX-FPGAマイクロプロセッサにおける浮動小数点パイプラインの実現

井上弘士, 中垣憲一, 大内正英, 終山太一郎, 久我守弘, 末吉敏則(九工大)

(21) 21世紀に向けた新しい汎用機能部品PPRAM-並列計算/実行モデルの検討-

村上和彰, 岩下茂信, 吉井 卓(九大)

(22) マルチメディア用RISCコントローラとその応用

河井 淳, 中澤 修, 楨 和彦, 大宅伊久雄(沖電気)

(23) ONBAM: An Objective-Neuron-Based Active Memory

阿江 忠, 豊崎 剛, 福本 光, 酒井敬一(広島大)

* 19日(木)の研究会終了後,懇親会を予定しています。

* 電子情報通信学会(VLSI設計技術研究会)と共催。

◆第 105 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 新田義彦, 幹事: 丹羽芳樹, 久光 徹, 丸山 宏)

日 時 平成 7 年 1 月 20 日 (金) 9: 45 ~ 16: 30

会 場 NHK 放送技術研究所 大会議室

[東京都世田谷区砧 1-10-11, JR: 新宿下車, 小田急線: 成城学園前 (南口) 下車, バス (渋谷行): NHK 技研前 (7 分) 下車. Tel.(03)5494-2308 江原暉将]

議 題

- 9: 45 ~ 11: 45 -

- (1) コスト最小法形態素解析のコストルールの作成実験 小松英二 (沖電気)
- (2) マルコフモデルを用いて漢字かな混り文候補を選択する方法
荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 真田 陽 (福井大), 芳永寛史 (松下電器)
- (3) 連語検索結果の正解率評価手法と提示優先順位決定アルゴリズム
青山昇一, 徳田克巳, 塩見隆一, 藤田公一, 杉村領一 (松下電器)
- (4) 一意解析可能文法とその自然言語解析への応用 森田憲一, 麻生博紀, 今井克暢 (広島大)

- 13: 15 ~ 16: 30 -

- (5) 行動要求表現における補助動詞・助動詞の機能 高橋治彦, 板垣完一 (東北大)
- (6) 場所・方向の深層格の助詞デ・ニ・ヲへの格役割配分 加藤 弘, 佐藤 滋, 中村 恵 (東北大)
- (7) 関係意味論に基づく取り立て助詞「も」の定式化 木曾宏顕, 森 辰則, 中川裕志 (横浜国大)
- (8) 日本語の統語処理における語彙情報-動詞の格構造と意味役割を中心に 横川博一 (阪大)
- (9) 視点を考慮した比喻の理解 内山将夫, 板橋秀一 (筑波大)
- (10) 状況を用いた名詞句照応解析のための試論 角田一美, 田中武二 (国際基督教大)

◆第 35 回 コンピュータと教育研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 大岩 元, 幹事: 石田厚子, 神津陽一, 三好和憲)

日 時 平成 7 年 1 月 20 日 (金) 14: 30 ~ 17: 30

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議 題

- (1) プログラム開発体験に基づく上流工程 SE 育成カリキュラムの開発と実施 橋本千恵子 (日立)
- (2) SFC キャンパスネットワークシステム利用促進に果たした情報処理教育の役割 井下 理, 堀田栄里子 (慶大)
- (3) カセットテープを用いたワープロ教育 神津陽一 (SPA)
- (4) ワープロを用いた一般情報処理教育-短期大学における講義例- 河合和久 (豊橋技科大)

◆第 43 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 浅野哲夫, 幹事: 加藤直樹, 鈴木 均, 徳山 豪)

日 時 平成 7 年 1 月 23 日 (月) 10: 00 ~ 16: 30

会 場 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 1F 中講義室 L2

[生駒市高山町 8916-5. 京都駅より近鉄京都線: 山田川 (約 1 時間) 下車, バス (高山サイエンスプラザ行): 大学院前 (約 15 分) 下車. または高の原下車 (急行約 30 分) 下車, タクシー約 15 分. 大阪難波方面よりは近鉄奈良線: 学園前 (快速急行約 10 分) 下車, タクシー約 15 分. Tel.(07437)2-5202 (情報科学研究科)]

議 題

- 10: 00 ~ 12: 00 -

- (1) 多角形搜索問題 梅本秀樹 (広島大), 鈴木一郎 (Wisconsin 大 Milwaukee 校/阪大), 山下雅史 (広島大)
- (2) New algorithms for the zoo-keeper route problem 譚 学厚 (東海大)
- (3) 放物線のアレンジメントの組合せ複雑度について 玉木久夫, 徳山 豪 (日本 IBM)
- (4) 剰余除算用ハードウェアアルゴリズムについて 高木直史 (名大)

- 13: 00 ~ 16: 30 -

- (5) 可変長ギャップ付き文字列に対する近似マッチング・アルゴリズム 阿久津達也 (群馬大)
- (6) レジスタ割り当てにおける循環区間グラフの彩色アルゴリズムについて
紀伊康之, 大山口通夫, 太田義勝 (三重大)
- (7) A parallel algorithm for the Euclidean distance map 藤原暁宏, 増澤利光, 藤原秀雄 (奈良先端大)
- (8) 外平面グラフ上の最大流量を求める並列アルゴリズム 中山慎一, 増山 繁 (豊橋技科大)

- (9) Embedding de Bruijn and Kautz networks in books
- (10) 対象の代数構造を重視したアルゴリズム記述法
- (11) SIGAL プログラムコンテスト結果発表

- 蓮沼 徹, 柴田幸夫 (群馬大)
- 飯田卓郎, 岩澤京子, 萩原洋一, 中森真理雄 (農工大)
- 浅野哲夫 (大阪電通大)

◆第102回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 32 件)

(主査: 磯田定宏, 幹事: 青山幹雄, 深澤良彰, 松村一夫)

ウインターワークショップ・イン・沖縄
 ー変革期を越えるソフトウェア工学を求めてー

本研究会では、毎年1回合宿形式のワークショップを開催しています。今回は、これからのソフトウェア工学の対象と方法を明確にすることにより、ひとつの学術/技術分野としてより確固としたソフトウェア工学を求めて、全参加者による討論を重視したワークショップを沖縄で行います。奮ってご参加ください。

日 時 平成7年1月26日(木) 9:00~17:50 (*ナイトセッション: 21:00~23:00)
 27日(金) 8:50~17:05

会 場 沖縄ハイツ

[宜野湾市真志喜 3-28-1 (沖縄コンベンションセンター向い)、那覇空港からバス (国内線ターミナル発 24 系統・那覇市經由石川行) : 真志喜下車 (約1時間)、徒歩 15 分。タクシー約 40 分 (2,500 円程度)。Tel.(098)898-1212]

議 題

1月26日(木)

ー 9:00~12:10 ー

●セッション1: ソフトウェアプロダクトの解析と加工ー仕様/プログラム理解, 保守, リエンジニアリングー

司会: 鯨坂恒夫 (京大), 菅沼 明 (九大)

- (1) ソフトウェア変更作業の分析と支援機能 津田道夫, 永岡郁代 (日立), 青木一紀 (日立電子サービス)
- (2) システム更改に適應したリエンジニアリング手法 (RELICS) の提案 忠海 均, 高田信一, 山本修一郎 (NTT)
- (3) COBOL を対象としたプログラムスライス計算方式 友納正裕, 大竹和雄, 小泉昌紀, 川崎洋治, 中島 震 (NEC)
- (4) 形式的仕様記述言語 Z の統一管理ツールの構築について 曹 建軍, 久野 茂, 藤野喜一 (電通大)
- (5) カラーベトリネットに基づくソフトウェアのためのテストケース自動生成システム 渡辺晴美, 工藤知宏 (東京工科大)
- (6) 大規模複雑プログラム理解のためのプログラム分析と可視化技術 秋山義博 (金沢工大)
- (7) 細粒度リポジトリに基づいたツール・プラットフォームとその応用 山本晋一郎, 阿草清滋 (名大)

ー 13:25~15:30 ー

●セッション2: 実世界をソフトウェアシステムに写像するモデリングーオブジェクト指向分析/設計ー

司会: 中谷多哉子 (FXIS)

- (8) オブジェクト指向方法論によるソフトウェア・アーキテクチャの比較検討 金澤典子, 中谷多哉子 (FXIS)
- (9) 要求フレームモデルに基づくオブジェクト指向分析支援手法 大西 淳 (立命館大)
- (10) ビジネス・アプリケーションを対象としたRAD型オブジェクト指向開発手順の考察 武田和彦, 四國 修, 廣岡龍哉, 青木弘之 (NTT データ)
- (11) オブジェクト指向仕様記述の実行・検証系: ROAD / EE 田村直樹, 中島 毅, 柳生理子, 萩原正敏 (三菱電機)
- (12) Object Oriented Method Engineering 佐伯元司 (東工大)

ー 15:45~17:50 ー

●セッション3: ソフトウェアプロダクトの解析と加工ーオブジェクト指向再利用技術ー

司会: 藤岡 卓 (三菱電機)

- (13) ソースコード再利用における能動的部品変化メカニズム 丸山勝久, 島 健一 (NTT)
- (14) クラスツリー間の接続に基づく視覚的プログラミング手法 北村操代, 杉本 明 (三菱電機)
- (15) ソフトウェア情報モデルとパターン 友枝 敦 (情報技術コンソーシアム)
- (16) オブジェクト指向プログラムのテストのためのモデルについて 古川善吾, 梅田修一, 片山徹郎, 伊東栄典, 牛島和夫 (九大)
- (17) アプリケーションフレームワーク理解のための操作優先度メトリクスの提案 中西弘毅, 荒野高志 (NTT)

ー 21:00~23:00 ー

●セッション4 (ナイトセッション): 変革期を越えるソフトウェア工学を求めて

- ー開発対象の変化と開発方法の変化に対応するエンジニアリングー 司会: 平川正人 (広大), 荒野高志 (NTT)
- <話題例>・どうすれば役に立つソフトウェア工学を作り上げられるか

- ・今後30年のソフトウェア工学変遷のシナリオ—どう技術がどう開発を変えていくか—
- ・情報社会への変革期にソフトウェア工学はどう対処すべきか
- ・パッケージソフトが支配する時代への対応
- ・現実と理論のギャップを埋めるには
- ・オブジェクト指向をいかにして役に立たせるか

1月27日(金)

— 8 : 50 ~ 10 : 30 —

●セッション5：実世界をソフトウェアシステムに写像するモデリング—仕様化、ドメインモデリング—

司会：深澤良彰（早大）

- (18) 実体・関連モデルへの意味的制約の統合と PCTE データモデルへの展開 沢田篤史, 鯉坂恒夫, 松本吉弘（京大）
- (19) 事例ベース推論に基づく通信サービス要求獲得手法 張 遷仁, 小林吉純, 太田 理（ATR）
- (20) 並行ソフトウェアの開発方法論に関する研究 山根 智（島根大）
- (21) リアルタイムシステムの性能評価・改善向けドメインモデルの提案 田村恭久, 伊藤 潔（上智大）

— 10 : 45 ~ 12 : 25 —

●セッション6：ソフトウェアシステム構成要素間のコミュニケーション

—エージェントモデル, 並列オブジェクトモデル, クライアント・サーバシステム— 司会：田代秀一（電総研）

- (22) 中継サーバの構造とその構成法—クライアントサーバ間の通信の効率化の一提案— 鶴飼孝典（富士通研）
- (23) 連結可能ウィンドウ・オブジェクト 喜瀬 浩, 新城 靖, 喜屋武盛基（琉球大）
- (24) 協調型ソフトウェア・アーキテクチャに基づく開放型システムの仕様記述モデル 来間啓伸, 本位田真一（IPA）
- (25) 並列オブジェクトシステムのモデル化と設計法 宮本衛市, 渡辺慎哉（北大）, 何 克清（武漢大）

— 13 : 55 ~ 17 : 05 —

●セッション7：ソフトウェアプロセス—プロジェクト管理, プロセス支援環境—

司会：松本健一（奈良先端大）, 杉山安洋（日大）

- (26) プロジェクト管理ツールとプロセス管理ツールの連携の実現 山本里枝子, 吉田裕之（富士通研）
- (27) 教示的生産管理システムの提案 君島 浩（富士通ラーニングメディア）
- (28) ソフトウェア・プロセス評価ツール「SPATS」について 小元規重, 込山俊博, 藤野喜一（電通大）
- (29) 開発プロセスを構成する要素間のインタラクションに関する考察 飯田 元, 松下 誠, 井上克郎（阪大）, 鳥居宏次（奈良先端大/阪大）
- (30) 統合型 CASE を用いた設計法と CASE の評価法の研究 藤尾好則（熊本県立大）
- (31) プロセス統合に用いられるユーザインタフェースの設計 満田成紀, 鯉坂恒夫, 松本吉弘（京大）
- (32) マルチメディアコンテンツ開発の生産性に関する一考察 小林幸也, 高橋一夫, 水野秀紀（富士通 SSL）

* 26日(木) 18 : 00より懇親会を予定しています。

*参加申込方法

下記の申込み先まで、氏名、連絡先（所属、住所、Tel., Fax., 電子メール）、宿泊予定（到着日と出発日）を電子メールまたは Fax. にてご連絡ください（*なるべく電子メールをお願いします）。宿泊、交通等についての詳細な情報をご連絡します。（*宿泊定員：50名 *宿泊費（2泊）、食費、懇親会等：20,000円）

申込み先：田代秀一（電総研） e-mail:okinawa-application@etl.go.jp Fax.(0298)51-9743 Tel.(0298)58-5904

*詳細は下記の ftp/WWW にても案内しています。

ftp://etlport.etl.go.jp/pub/okinawa-information http://www.etl.go.jp/Bulletin Board/Meeting

◆第101回 データベースシステム研究会

(発表件数：19件)

(主査：増永良文, 幹事：石川 博, 井上 潮, 吉川正俊)

日 時 平成7年1月26日(木) 9 : 30 ~ 17 : 20

27日(金) 9 : 30 ~ 18 : 00

会 場 高山サイエンスプラザ 小研修室

[生駒市高山町 8916-5 (*奈良先端科学技術大学院大学 (所在地は前記参照) に隣接)。Tel.(07437)2-5810]

議 題 小特集：文書データベースとマルチメディアデータベース、および一般

1月26日(木)

●一般発表

— 9 : 30 ~ 12 : 10 —

- (1) 時空間型ハイパーメディアにおける情報のハイパーリンク生成・継承機構 谷崎正明, 上浦真樹, 田中克己（神戸大）
- (2) VIEWclassroom（遠隔分散教育システム）における教師生徒間の対話支援 片山 薫, 香川修見, 木實新一, 上林弥彦（京大）

(3) ASN.1 データベースシステムにおけるデータ格納方式

齋藤 淳 (奈良先端大), 春本 要 (阪大), 塚本昌彦 (シャープ), 西尾章治郎 (阪大)

(4) PERCIO/C++ の宣言的問合せ機能とその実現

波内みさ, 木村 裕 (NEC)

— 13 : 10 ~ 17 : 20 —

(5) 拡張性を考慮した集合に基づくデータモデルに関する一考察

森田幸伯, 和田久美子, 菅井 猛 (沖電気)

(6) ビュー機能を用いた E-R モデルデータベースの操作

村田美友紀, 掛下哲郎 (佐賀大)

(7) 事例ベース推論によるデータベースアクセス

寺本浩史, 阿江 忠 (広島大)

(8) 民族資料とシソーラス

栗田靖之 (民博), 守屋祐子 (トータルメディア開発研究所)

(9) 生物分類樹データベースにおける履歴推論

北上 始 (広島市大), 館野義男, 五條堀孝 (遺伝研)

(10) サイエнтиフィックデータベースのためのデータモデルの一提案—考古学データベースを例として—

中田 充, 宝珍輝尚, 都司達夫 (福井大)

1月27日(金)

— 9 : 30 ~ 10 : 50 —

(11) 拡張可能類名表記を用いた類似キー検索ファイル

平出基一 (日本 IBM), 田中栄一 (神戸大)

(12) データベースアシスタントにおける動的知識の獲得

川染俊樹, 平川正人, 市川忠男 (広島大)

●小特集: 文書データベースとマルチメディアデータベース

— 11 : 00 ~ 12 : 20 —

(13) 構造化文書を対象とした文書操作コマンドの開発

楠本浩二, 黒澤 宏, 鈴木克明 (富士ゼロックス)

(14) 文書データベース管理システム Xebec の概要

中津山恒, 京嶋仁樹, 奥村 洋

安松一樹, 安藤俊明, 内田 剛, 千葉和也, 沼田賢一, 上林憲行 (富士ゼロックス)

— 13 : 20 ~ 16 : 50 —

(15) 構造化文書とデータベースの融合について

吉川正俊, 市川 修, 植村俊亮 (奈良先端大)

(16) マルチメディアデータを扱うオブジェクト指向データベースにおけるデータ配置

栗原正樹, 吉高淳夫, 平川正人, 市川忠男 (広島大)

(17) 圧縮映像データの格納と検索

友田政明, 堀内優希, 石川佳治, 植村俊亮 (奈良先端大)

(18) 仮想画像オブジェクトサーバにおける版管理モデル

川島 享, 金森吉成 (群馬大), 増永良文 (情報大)

(19) 植物遺伝資源データベースにおける画像データ管理

竹谷 勝, 川田真佐枝, 梅原正道 (農水省生物研)

●見学: 奈良先端大

— 17 : 00 ~ 18 : 00 —

* 26日の研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので, 皆様ご参加ください。

◆第68回 マルチメディア通信と分散処理研究会

◆第9回 グループウェア研究会

合同研究会

(発表件数: 23件)

DPS (主査: 白鳥則郎, 幹事: 鈴木健二, 滝沢 誠, 寺中勝美)

GW (主査: 松下 温, 幹事: 岡田謙一, 守屋康正, 山上俊彦)

日 時 平成7年1月26日(木) 10:00~17:00

27日(金) 9:30~17:00

会 場 金沢工業大学 5-101 会議室

[石川県石川郡野々市町扇が丘7-1. JR: 金沢下車, バス(工大前行): 工大前(約35分)下車. Tel.(0762)48-1100]

議 題

1月26日(木)

— 10 : 00 ~ 12 : 00 —

(1) LAN における Trouble Ticket System の開発

泉 裕 (奈良先端大)

(2) OSI 通信用ハイブリッド IC

井戸上彰, 加藤聰彦, 鈴木健二 (KDD 研究所)

(3) 時間変化要素を含む分散型通信システムの記述法

太田 賢, 渡辺 尚, 水野忠則 (静岡大)

(4) 自律分散型データベースシステムの同時実行制御

安西廣高, 滝沢 誠 (電機大)

— 13 : 00 ~ 17 : 00 —

(5) 連続メディア転送を考慮した情報間同期機構

瀬田直也, 勝本道哲, 柴田義孝 (東洋大)

(6) パケットロスを考慮したパケット オーディオ・ビデオ システム

渡辺光輝, 橋本浩二, 柴田義孝 (東洋大)

(7) 有限体上の画像符号化に関する検討

塩野智樹, 荒木伸幸, 永瀬 宏 (金沢工大)

(8) ユーザモデルを基本とした感性検索法

福田 学, 勝本道哲, 柴田義孝 (東洋大)

(9) オブジェクト指向ヒューマンコンピューティングによる知識ナビゲーションの一考察

木本陽介, 鴨宮 淳, 服部進実 (金沢工大)

(10) 分散協調型帰納推論エージェントによるサーバ負荷分散処理

目黒雄峰, 米沢隆利, 阿部倫之, 服部進実 (金沢工大)

Mike Liu (オハイオ州立大/慶大)

(11) 招待講演: Distributed computing present and future
1月27日(金) - 9:30 ~ 12:00 -

(12) ソフトウェア開発のためのユーザ要求機能分析に関する一考察

加藤直孝 (石川県工業試験場), 國藤 進 (北陸先端大)

(13) ソフトウェア分散開発におけるネゴシエーション支援の一方式

堀 雅和 (富山商船高専), 海谷治彦, 落水浩一郎 (北陸先端大)

(14) ソフトウェアの要求獲得を支援する対面式会議システムに関する一考察

海谷治彦 (北陸先端大), 三浦信幸, 佐伯元司 (東工大), 落水浩一郎 (北陸先端大)

(15) 会議システムと合意ベース手法を用いた意思決定支援について

佐藤浩司, 平石邦彦 (北陸先端大)

(16) 多地点会議システムにおける協同作業空間演出方式

國枝和雄, 宮井 均 (NEC)

- 13:00 ~ 17:00 -

(17) ATM 環境における TV 会議システムの実現

殿芝義貴 (奈良先端大)

(18) 分散環境における接近感の提供

日高哲雄, 小島祐治, 岡田謙一, 松下 温 (慶大)

(19) グループ情報共有の長期的行動遷移モデルの提案

爰川知宏, 山上俊彦, 杉田恵三 (NTT)

(20) モバイルコンピューティングシステムモデルの提案

田窪昭夫 (三菱電機), 鈴木淳之, 水野忠則 (静岡大)

(21) 使用場所の制約の無い対面型グループウェア

杉川明彦, 森岡靖太, 岩村和昭, 多鹿陽介, 中村 誠 (東芝)

(22) ワークフローの組織的最適化方式の提案

垂水浩幸, 吉府研治 (NEC)

(23) ワークフローとデータベースの相互連携システム

吉府研治, 田淵 篤, 垂水浩幸 (NEC)

◆第25回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 及川昭文, 幹事: 竹内 健, 長瀬真理, 八村広三郎)

日 時 平成7年1月27日(金) 10:00 ~ 17:00

会 場 北海道開拓記念館

[札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2. JR (千歳線): 新札幌下車, 地下鉄 (東西線): 新さっぽろ下車, JR バス (開拓の村行): 記念館入口下車, 徒歩 5分. または JR (函館本線): 森林公園下車, 徒歩 20分. Tel.(011)898-0456]

議 題

- 10:00 ~ 12:00 -

(1) Lisp と GUI を用いたシソーラスエディタ

芝 勝徳 (神戸外大)

(2) KJ エディタを用いた共創活動の支援

大岩 元 (慶大)

(3) 高次局所自己相関特徴による古文書かな文字認識

山田奨治 (筑波技術短大)

- 12:00 ~ 14:00 -

(4) 見学: 北海道開拓記念館 (昼休み)

- 14:00 ~ 17:00 -

(5) 国際会議報告 (Imaging the Past)

小沢一雅 (大阪電通大)

(6) 日本語教育のための電子化辞書構築

吉岡亮衛, 小松幸廣, 坂谷内勝 (国教研), 及川昭文 (茨城大)

(7) ニューミュージックに見る恋愛風景

久保正敏 (民博)

(8) 貝塚データベースの数量的分析 (2) - 多変量解析の試み -

及川昭文 (茨城大)

◆第20回 プログラミング言語・基礎・実践一研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 萩谷昌己, 幹事: 大堀 淳, 柴山悦哉, 松岡 聡)

日 時 平成7年1月27日(金) 13:30 ~ 16:45

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議 題

(1) ページ記述言語プログラムの等価性に関する一考察

伊知地宏 (富士ゼロックス)

(2) 項書換え系の合流性を保存する合併条件について

北原 彰, 酒井正彦, 外山芳人 (北陸先端大)

(3) ϕ 関数移動による効率的な部分的冗長計算除去

滝本宗宏, 原田賢一 (慶大)

(4) 局所伝播法と方程式解法に基づく制約充足法

高橋栄治, 徳田雄洋 (東工大)

*** 研究発表会 論文・参加募集 ***

◆情報学基礎研究会

今年度最後の研究会を下記のとおりに開催いたします。奮ってご参加ください。なお、プログラム詳細につきましては、次号(1月号)本欄にてお知らせいたします。

日 程 平成7年2月7日(火)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 特集:ゲノム

◆グループウェア研究会

日 時 平成7年3月2日(木) 10:00~17:00

会 場 横浜ランドマークタワー

発表申込締切 平成6年12月19日(月)

発表申込 神田陽治(富士通研究所) Tel.(043)299-3100 Fax.(043)299-3075

／照会先 e-mail:kohda@iias.flab.fujitsu.co.jp *できるだけ電子メールでの申込みをお願いします。

◆人工知能研究会

第99回研究会を下記特集に関し、ゲームについての専門家をお迎えして招待講演、パネル討論をまじえ開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。なお、発表希望の方は前号本欄を参照のうえ平成6年12月20日(火)(締切日が変更になってます)までにお申込みください。

日 程 平成7年3月6日(月)・7日(火)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

議 題 特集:マルチエージェントとゲーミング

招待講演:「日米ゲームソフトの最新動向(仮題)」多摩 豊(ゲームソフト評論家)

「A Iと将棋(仮題)」飯田弘之(電総研/将棋プロ棋士)

パネル討論:「A Iとゲーミング」司会:中島秀之(電総研)

パネリスト:竹内郁夫(NTT)(予定), 兼田敏之(愛知県立大), 出口 弘(国際大)

橋田浩一(電総研), 多摩 豊(ゲームソフト評論家), 飯田弘之(将棋プロ棋士)

申込/照会先 沼尾正行 Tel.(03)5734-2684 Fax.(03)5734-2689 e-mail:numao@cs.titech.ac.jp

*日本シミュレーション&ゲーミング学会と協賛(予定)。

◆自然言語処理研究会

日 程 平成7年3月9日(木)・10日(金)

会 場 松下電器 九州飯塚研究所(九工大・情報工学部隣)

発表申込締切 平成7年1月9日(月)

発表申込 丹羽芳樹(日立・基礎研究所) Tel.(0492)96-6111(ex.241) Fax.(0492)96-6006

／照会先 e-mail:niwa2@harl.hitachi.co.jp

◆情報メディア研究会

日 時 平成7年3月10日(金) 9:30~17:00

会 場 情報処理学会(芝浦)

議 題 特集:情報メディアアーキテクチャー

発表申込締切 平成6年12月20日(火) *申込先等の詳細は前号(11月号)の本欄をご確認ください。

◆データベースシステム研究会

下記のとおりに第102回研究会を開催いたします。今回は特にテーマを定めませんので、幅広いテーマでのご発表を募集いたします。なお、卒論修論博論に関連したテーマも歓迎いたしますので下記宛、是非、積極的にお申込みください。

日 程 平成7年3月14日(火)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込締切 平成6年12月22日(木)

発表申込 石川 博(川崎市中原区上小田中1015 富士通研究所 情報システム研究部)

／照会先 Tel.(044)754-2681 Fax.(044)754-2570 e-mail:hiro@flab.fujitsu.co.jp

◆アルゴリズム研究会

日 程 平成7年3月17日(金)
会 場 日本アイ・ビー・エム 東京基礎研究所
発表申込締切 平成7年1月6日(金)

◆コンピュータビジョン研究会

日 程 平成7年3月23日(木)
会 場 東京農工大学
発表申込締切 平成6年12月24日(土)
発表申込 村瀬 洋 (NTT 基礎研究所) Tel.(0462)40-3579 Fax.(0462)40-4714 e-mail:murase@apollo3.ntt.jp
／照会先 できるだけ電子メールでの申込みをお願いします。電子メールを受けましたら返信しますので、もし返信のない場合には連絡ください。

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会

日 時 平成7年3月24日(金) 9:00～17:00
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)
議 題 特にシステムレベルの日本語処理と多言語処理に関する話題を歓迎します。これ以外の話題でも広く募集しますので、お申込みください。
発表申込締切 平成6年12月22日(木)
発表申込方法 発表題目, 発表者名, 略称所属, 概要(50字程度), 発表申込者連絡先(住所, 氏名, Tel., Fax., e-mail)を發表申し込みであることを明記のうえ, Fax.またはe-mailで下記宛にお申し込みください。
発表申込先 梅村恭司(NTT) Tel.(0462)40-3322 Fax.(0462)40-3394 e-mail:umemura@nuesun.ntt.jp

*特に申込みの指定がない研究会の発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書(8月号本欄添付)を事務局研究会担当までお送りください。(Fax., e-mail可)。(*e-mailでお申し込みの場合は、研究会発表申込書の様式で必要事項をご記入のうえお送りください。) Fax.(03)5484-3534 e-mail:ito@ipsj.or.jp

~~~~~

◆第18回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(主査:山田尚勇, 幹事:牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成7年1月11日(水) 13:30～17:00  
会 場 機械振興会館 B3F 研修2号室  
[東京都港区芝公園3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 徒歩約10分。またはJR:浜松町下車, バス:渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車。Tel.(03)3434-8211]  
議 題 SGMLの実践について, 2件の発表を予定しております。  
参 加 費 研究グループ未登録者:2,000円 (研究グループ年間登録:2,000円)  
照 会 先 福島, 谷本(富士通) Tel.(044)754-2660 Fax.(044)754-2662

◆第5回 分散システム運用技術研究グループ研究会

(主査:石田晴久, 幹事:岩原正吉, 箱崎勝也, 林 英輔)

日 時 平成7年1月25日(水) 13:30～17:00  
会 場 東京大学 大型計算機センター 3F 大会議室  
[東京都文京区弥生2-11-16, 地下鉄(千代田線):根津下車, 徒歩5分, Tel.(03)3812-2111]  
発表申込締切 平成6年12月22日(木)  
発表申込 林 英輔(山梨大学 情報処理センター)  
／照会先 e-mail:hayashi@acacia.esb.yamanashi.ac.jp Tel.(0552)20-8085 Fax.(0552)20-8792

## 平成7年度の研究会について

平成7年度の研究会は下記の24研究会（統合1，新設1）で活動いたします。

平成6年度に研究会登録をされている方の登録手続きは自動継続制度を採用します。詳細につきましては別途発送（1月上旬予定）するご案内をご覧ください。

なお、研究分野等の活動詳細、新規登録申込につきましては、2月号本欄でご案内いたします。

記

(円)

| 研究会名                     | 登録費   | 研究会名             | 登録費   |
|--------------------------|-------|------------------|-------|
| 自然言語処理                   | 6,200 | 情報システム           | 5,000 |
| データベースシステム               | 5,000 | *プログラミング         | 5,300 |
| 人工知能                     | 3,600 | 情報学基礎            | 5,000 |
| ソフトウェア工学                 | 6,000 | コンピュータと教育        | 3,700 |
| 計算機アーキテクチャ               | 6,000 | アルゴリズム           | 6,100 |
| システムソフトウェアとオペレーティング・システム | 4,800 | 人文科学とコンピュータ      | 5,000 |
| コンピュータビジョン               | 5,100 | 情報メディア           | 4,900 |
| 設計自動化                    | 6,000 | 音楽情報科学           | 3,500 |
| マルチメディア通信と分散処理           | 6,000 | オーディオビジュアル複合情報処理 | 5,400 |
| ヒューマンインタフェース             | 5,200 | グループウェア          | 4,800 |
| グラフィクスとCAD               | 5,600 | 音声言語情報処理         | 6,500 |
| ハイパフォーマンスコンピューティング*      | 5,400 | **数理モデル化と問題解決    | 4,700 |

\*：統合（「記号処理」と「プログラミング—言語・基礎・実践—」2研究会の統合）

\*\*：新設

## 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在59名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、紙面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会編集係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F  
Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534 e-mail:ishimaru@ipsj.or.jp

## 「数理モデル化と問題解決研究会」発足のお知らせ

### 目 的

理工学上の問題、特に情報工学・情報科学による解決を想定した問題は、問題のモデル化・定式化、問題解決の方針の設定、解決のためのシステムのアーキテクチャの検討、アルゴリズムとデータ構造の検討、インプリメント等々の段階に沿って行われるのが普通です。これらの段階のうち、上流に近いものほど、検討が難しいとされております。

上流工程の自動化を目指す研究は、要求仕様技術、自動プログラミング技術等々ソフトウェア工学の諸部門として発達してきました。また、上流工程全般の実践を学問として体系化しようとする試みは情報システム学として発達しつつあります。これらの学問的動向を反映して、本学会にはソフトウェア工学研究会や情報システム研究会が設置され、活発な活動が行われております。

しかし、モデル化と解決アルゴリズム両面に関わる研究を専門に取り扱う研究会は本学会に無く、研究者は本学会の他、電子情報通信学会、オペレーションズ・リサーチ学会、応用数学会等々の諸学会のさまざまな研究会を渡り歩いて発表しているのが実状です。それによって、学会間の交流が活発となるメリットはあるものの、学問分野として発展させるには障害要因ともなっております。特に、本学会では数理計画法に関連したモデル化やアルゴリズムの研究の発表の場が不足しております。

人間を含む系のモデル化については、例えばオペレーションズリサーチのようなしっかりとした理論があるにも関わらず、ソフトウェア開発現場のSEにはあまり知られていないように思われます。しかし、数理モデルに関する深い洞察をもたない人々がモデル化と仕様策定の基本的部分に携わるのはきわめて危険であり、本学会としても看過できない問題と考えられます。

本学会が文部省から委嘱を受けて実施した情報システム学 (IS) カリキュラムに関する調査研究報告書 (平成3, 4年度。國井利泰代表) においては、「モデル化のための基礎数理」がカリキュラムの4分の1を占めており、しかもそれを既存の数学で代用するのでは不十分であると指摘されております。モデル化と基礎数理とコンピュータサイエンスの3者をつなぐ部分の研究を、本学会においても活発にする必要があると考えられます。

近年、ファジー論理、ニューロコンピューティング、焼きなまし法、カオス、遺伝的アルゴリズム等々、従来の情報処理とは異なる新しい手法が種々提案されておりますが、それらを単に「手法」としての観点だけから論ずるのは危険であり、「数理モデル」という観点からも論ずる必要があります。

モデル化と問題解決に関する研究活動は、国際関係の観点からも、本学会において活発にする必要があります。本学会が加盟している IFIP には TC7 が設置され、モデル化と最適化を主要なテーマとして研究活動を続けており、2年に1度 System Modelling and Optimization という国際会議を開催しております。TC7 との関係を一層密にすることは本学会だけの問題ではなく、わが国の国際貢献という観点からも、好ましいことと考えられます。そのためには、研究会を通じてモデル化と問題解決の研究活動を活発にすることが不可欠であることは自明でありましょう。

活動形態としては、通常の研究会の形式の他に、講習会、事例紹介のためのワークショップなど魅力ある方法を取り入れたいと考えております。会員の皆様の多数の参加をお待ち申し上げます。

### 主な研究分野

- (1) 理工学上の問題の数理モデル化全般と解法：連続モデル、離散モデル、最適化モデル、確率モデル等々
- (2) 数理計画法：線形計画法、非線形計画法、動的計画法等々
- (3) グラフ理論、ネットワークフロー理論の諸問題と解法
- (4) 各種モデルと双対性、モデル間の準同型
- (5) 積分変換論：フーリエ変換等々
- (6) 逆問題
- (7) 以上の諸モデルの応用：交通・輸送、パターン認識、予測等々
- (8) 数理モデルの教育とカリキュラム

### 提案者 (五十音順)

|                               |              |               |              |
|-------------------------------|--------------|---------------|--------------|
| 岡本吉晴 (三菱総合研究所)                | 翁長健治 (琉球大)   | 亀田壽夫 (筑波大)    | 久保田光一 (中央大)  |
| 小澤時典 (日立)                     | 佐藤政生 (早大)    | 白石洋一 (群馬大)    | 城 和貴 (奈良先端大) |
| 鈴木敦夫 (南山大)                    | 鈴木誠道 (上智大)   | 仙石正和 (新潟大)    | 恒川純吉 (帝京技科大) |
| 寺田浩詔 (阪大)                     | 寺野隆雄 (筑波大)   | 富田悦次 (電通大)    | 中森真理雄 (農工大)  |
| 名取 亮 (筑波大)                    | 西関隆夫 (東北大)   | 野田松太郎 (愛媛大)   | 福村 聡 (川崎製鉄)  |
| 古瀬慶博 (三菱 <sup>ス</sup> ソフトウェア) | 矢島敬二 (東京理科大) | 山下 浩 (数理システム) |              |

## 「プログラミング言語・基礎・実践」研究会と 「記号処理研究会」との統合のお知らせ

### 統合の目的

「プログラミング言語・基礎・実践」研究会と「記号処理研究会」は、ともにプログラミング言語を中心とした諸分野を対象としたもので、前者が計算モデル等の理論的側面から処理系や環境などの実践的な側面までを幅広く扱うのに対して、後者は記号処理という一つのこだわりによってプログラミング言語だけでなく時にはアーキテクチャに至るまでを扱うという違いがありました。しかし、記号処理が計算機ソフトウェアの全分野に浸透し、もはや空気のような存在となってしまうと、両研究会の研究発表もなかなか区別ができないものとなっています。

ただし、記号処理研究会は古い歴史を持ち、他の研究会にない伝統を有しています。これが両研究会の統合を妨げていた大きな要因でしたが、以下で述べるように、このたび、両研究会のよいところを生かすような形で統合することで意見がまとまりました。新研究会は、プログラミング言語プロパーの研究会として本学会で唯一のものになりますのでよろしくお願いいたします。

新研究会は以下のようにして前身となる二つの研究会のよいところを引き継ごうとしております。

一つは、プログラミング言語・基礎・実践研究会と同様に、共催やシンポジウム等の形態をとりつつ、並列処理などの特定テーマに関する発表の場を提供します。

もう一つは従来の研究発表会に関してですが、記号処理の伝統を継承し、単なる発表ではなく議論を中心としたものとします。具体的には、発表25分、議論20分、発表中の割り込み自由というものです。さらに、すでに完成した仕事の発表だけでなく、発展途上のものも歓迎します。

### 新研究会の名称

プログラミング研究会 (Programming, 略称: PRO)

### 新研究会役員

主査: 萩谷昌己 (東大)

幹事: 小川貴英 (津田塾大), 柴山悦哉 (東工大), 多田好克 (電通大)

### 主要な研究分野

- ・プログラミング言語の基本概念, 設計原理, 実装技術
- ・プログラミング方法論, プログラミング環境
- ・その他, プログラミングに関する面白い話題



情報処理学会「行事」・「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚にて、下記ご記入の上、お申し込みください)

|        |  |
|--------|--|
| コードNo. |  |
|--------|--|

(コードNo.は、開催のお知らせに記載してあります)  
 ○参加費 (シンポジウム・講習会・セミナー)  
 (該当するものを○で囲み、金額を記入してください)

|      |                   |
|------|-------------------|
| 該当を○ | 会員・研究会登録会員・非会員・学生 |
| 金額   |                   |

・参加費には資料代が含まれています。  
 ・3日前までに連絡なき欠席の場合にも参加費を徴収させていただきます。

○懇親会費 \_\_\_\_\_ 円  
 ○資料のみ (送料込) \_\_\_\_\_ 冊 \_\_\_\_\_ 円  
 通信欄

○アンケート (宿泊付の場合の部屋割りの参考にします)  
 (1) たばこ : すう すわない  
 (2) 年齢 : 20代 30代 40代 50代以上  
 その他ご要望があればお書きください。

○送金明細

|                      |                                                                     |       |       |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------|-------|-------|
| 支払方法<br>(該当を○してください) | a) 当日、会場受付にて支払います。(第50回全国大会論文集・参加予約は事前送金のみ)                         |       |       |
|                      | b) 現金書留で _____ 月 _____ 日に送金します。                                     |       |       |
| 送金人名義                | c) 郵便振替 (00150-4-83484) で _____ 月 _____ 日に送金します。<br>名義人 社団法人 情報処理学会 |       |       |
|                      | d) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で _____ 月 _____ 日に送金します。                       |       |       |
|                      | 1. 第一勧業銀行虎ノ門支店 1013945                                              |       |       |
|                      | 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 1,2とも名義人 社団法人 情報処理学会                          |       |       |
| 請求書類                 | 請求書 通                                                               | 見積書 通 | 納品書 通 |
|                      | 請求先                                                                 |       |       |

申込先 : (社) 情報処理学会 事業係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F  
 Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail : simanuki@ipsj.or.jp  
 e-mail での申込みの場合は、本申込書の事項をもちろん明記し、お送りください。

通信・送付先

|            |                         |
|------------|-------------------------|
| 住所 〒       |                         |
| 機関・部課名     |                         |
| フリガナ       | 会員番号                    |
| 氏 名        | 様 ( )                   |
| Tel. _____ | (ext. _____) Fax. _____ |

○第50回全国大会論文集・参加予約

| 分冊   | 予約価                                                                   | 部数 | 金額 |
|------|-----------------------------------------------------------------------|----|----|
| 第1分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| 第2分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| 第3分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| 第4分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| 第5分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| 第6分冊 | 4,000円                                                                |    |    |
| セット  | 24,000円                                                               |    |    |
| ※送料  | <input type="checkbox"/> 会場受取を希望<br><input type="checkbox"/> 大会後送付を希望 |    |    |
| ※参加費 | 会員 2,000円                                                             |    |    |
|      | 一般 4,000円                                                             |    |    |
| 懇親会  | 4,000円                                                                |    |    |
| 合計   |                                                                       |    |    |

※送料は、本会告に掲載されている第50回全国大会予約案内に明記されています。会場での受取を希望の方は不要です。  
 ※参加費には、プログラム、参加章が含まれています。

行事No. Z50

### 第50回全国大会予約案内

第50回(平成7年前期)全国大会の講演論文集・参加・懇親会の予約を募集いたしますので、ぜひお申し込みくださいますようお願い申し上げます。なお講演論文集の発送については、大会会場渡しまたは大会後の有料発送になりますのでよろしく願いたします。

期 日 平成7年3月15日(水)～17日(金)  
会 場 青山学院大学(東京都渋谷区渋谷4-4-25)

論文集 B5判オフセット印刷 \*論文集価格は消費税込です

- 第1分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - 情報科学一般
  - 基礎理論及び基礎技術
  - ネットワーク
  - 応用
- 第2分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - 人工知能及び認知科学
  - 人工知能システム, パターン認識, 生体情報処理, 感性情報処理
  - データ処理
  - 音声処理, 画像・図形処理
- 第3分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - 人工知能及び認知科学
  - 知識処理, 自然言語処理
  - データ処理
  - テキスト処理, マルチメディア処理
- 第4分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - ソフトウェア
  - 基礎理論, ウィンドウシステム, オペレーティングシステム, データベース・情報検索, プログラミング技術
  - ヒューマンインタフェース
  - 信頼性と安全性
- 第5分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - ソフトウェア
  - プログラム言語及び仕様記述言語, 言語処理系, ツール
  - ソフトウェア工学
- 第6分冊……………予約価4,000円(定価6,000円)
  - ハードウェア
  - システム
- セ ッ ト (上記6冊一揃, 講演者索引・カバー付) ……………予約価24,000円(定価36,000円)
- 送 料 (大会後の発送希望者のみ)
 

|          |        |
|----------|--------|
| 北海道・九州   | 1,400円 |
| 中国・四国    | 1,300円 |
| 関西       | 1,100円 |
| 東北・中部・北陸 | 1,000円 |
| 関東       | 900円   |
- 参加費(プログラム・参加章含む)
 

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| 会 員 | 2,000円(賛助会員は正会員に準じます) |
| 非会員 | 4,000円                |
| 学 生 | 無料                    |
- 懇 親 会 会費4,000円
- 申込締切 平成7年2月3日(金)必着  
(締切後は予約扱いいたしませんので、ご了承ください)

行事No. S-F195

## 「1995年情報学シンポジウム」参加者募集

—情報の多目的利用に向けて—

日 時 平成7年1月12日(木)～13日(金) 9:30～17:00  
 会 場 日本学術会議講堂 〒106 東京都港区六本木 7-22-34 (地下鉄千代田線, 乃木坂駅下車)  
 共同主催 日本学術会議 情報学研究連絡委員会  
 情報学基礎専門委員会  
 学術文献情報専門委員会  
 学術データ情報専門委員会  
 情報工学研究連絡委員会

情報処理学会, 人工知能学会, 日本医学会, 日本化学会, 日本数学会, 日本地理学会, 日本物理学会,  
 情報知識学会, 日本生物物理学会, 日本ソフトウェア科学会

後 援 学術情報センター, 計測自動制御学会, 国際電信電話, 情報科学技術協会, 情報通信学会,  
 電子情報通信学会, 日本医療情報学会, 日本科学技術情報センター, 日本機械学会, 日本金属学会,  
 日本原子力学会, 日本材料科学会, 日本材料学会, 日本生化学学会, 日本電信電話, 日本動物学会,  
 日本農学会, 日本分子生物学会, 日本分析化学会, 日本薬学会, 化学情報協会, I C O T

申込締切 平成6年12月20日(火) 当日受付も歓迎しますが, 資料不足の際は事前登録者を優先します。

参加費 (資料代として) 共催学協会員 8,000円 学生 3,000円 一般 12,000円

懇親会費 一律 1,000円

申込先 (社) 情報処理学会 情報学シンポジウム係  
 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F  
 Tel. (03)5484-3535 Fax. (03)5484-3534

\* 当日出席できない方のために資料の郵送申込も受け付けております。

\* 申込書は本公告に掲載されている「行事申込書」をお使いください。掲載頁は会告目次をご覧ください。

## プログラム

## 第1日目 1月12日(木)

組織委員長挨拶 [9:30～9:40]

土居範久 (日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長)

セッション1: 情報システム [9:40～11:50]

座長: 中谷多哉子 (富士ゼロックス情報)

日本化学会欧文論文誌の電子化とその利用 (招待講演1)

伊藤 卓 (横浜国大)

日本の情報システム開発方法論の研究 (上流工程 CASE の活用)

藤尾好則 (熊本県立大)

タイミング制約記述を考慮した要求仕様記述手法の研究

山根 智 (島根大)

制約分析によるオブジェクト指向データベース設計法

鬼塚 真, 山室雅司 (NTT)

休憩 [11:50～12:50]

セッション2: 知的活動と支援環境 [12:50～15:00]

座長: 細野公男 (慶大)

マスコミ情報とミニコミ情報—現状と将来への展望— (招待講演2)

吉村文成 (朝日新聞社)

思考支援と情報システムに関する一考察

工藤浩志 (富士ゼロックス情報)

情報技術者に役立つ新しいシステム思考法

楠森 昭 (前橋市立工業短大)

UNIX 環境での「超」整理法を支援するツールの設計と実現

高坂雅彦, 大見嘉弘, 竹田尚彦, 河合和久 (豊橋技科大)

休憩 [15:00～15:15]

セッション3: マルチメディアと大規模知識 [15:15～16:55]

座長: 木本晴夫 (NTT)

大規模知識ベースの動向と課題 (招待講演3)

寺野隆雄 (筑波大)

分散マルチメディアシステムによる Collaboratory の構築に向けて

藤田昭平 (東工大)

アコモデーションの為の情報流通へ

江谷典子 (富士ゼロックス情報)

第2日目 1月13日(金)

セッション4:文化/教育と情報 [9:30~11:30]

高度情報化社会における文化系情報処理教育のあり方について  
社会情報システム論の試み  
学習情報ライブラリーの設計モデル  
データベースとしての社会

座長:石塚英弘(図書館情報大)  
島田由美子(多摩大)  
太田敏澄, 山本 匡(電通大)  
福永真美, 生天目章(学習情報通信システム研究所)  
野島久雄(NTT)

休憩 [11:30~12:45]

セッション5:情報管理と提供 [12:45~14:55]

コーポレートデータ管理確立への道程(招待講演4)  
構造衝突の解消と概念類似性の判定を両立したスキーマ統合  
地球観測衛星データ・情報の管理・提供手法について

座長:中川 優(近大)  
林 泰樹(NTT)  
鈴木源吾, 山室雅司(NTT)

祖父江真一, 下田陽久, 吉田文良, 小川美奈, 落合 治, 高木正夫(宇宙開発事業団)  
ふたたび地球環境データの整備について 増田耕一(都立大)

休憩 [14:55~15:10]

セッション6:情報活用への期待 [15:10~16:50]

量が分かる人工知能の意味構造(招待講演5)  
インターネット上の情報をカード操作ツールで扱うための機能拡張とその評価

座長:千村浩靖(NEC)  
飯田敏幸(NTT)

中村勝利, 大見嘉弘, 竹田尚彦, 河合和久(豊橋技科大), 大岩 元(慶大)  
歴史的資料情報形成の基礎的課題 八重樫純樹(国立民族博物館)

総括 [16:50~17:00]

中川 優(情報学シンポジウム'95実行委員長 近大)

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内\*

<国内会議>

平成6年第IV期教育講座「マルチメディア情報処理コース」

平成7年2月7日(火)~9日(金)

(財)神奈川科学技術アカデミー

第27回人工知能セミナー「非線形情報処理」

平成7年1月23日(月)

名古屋・日本ユニシス(株)

第28回人工知能セミナー「マルチエージェントの実問題への応用」

平成7年2月2日(木)

東京・日本ユニシス(株)

第12回「流体計測シンポジウム」

平成7年1月19日(木)~20日(金)

東京工業大学

第3回交通・物流部門大会併催—鉄道技術連合シンポジウム

平成6年12月6日(火)~9日(金)

川崎市産業振興会館

ソフトウェア・シンポジウム'95

平成7年6月14日(水)~16日(金)

ラフォーレ琵琶湖

第43回年次大会工学・工業教育に関する研究講演会

平成7年7月26日(水)

富山県民会館

<国際会議>

ICLP'95—第12回論理プログラミング国際会議

1995年6月13日(火)~17日(土)

湘南国際村センター

ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護に関する日米シンポジウム

1995年3月10日(金)~11日(土)

バシフィコ横浜

\*詳細は本号会議案内欄参照

行事No. RS94

情報処理学会「連続セミナー'94」  
 ビジネス・プロセス・リエンジニアリングのための  
 最新情報テクノロジーの理論と実践

企業等において、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）が積極的に検討されていますが、この中で先端情報テクノロジーが要素技術として必要不可欠であり、これを取り入れた情報システムが極めて重要な役割を占めています。本セミナーは、ビジネス・プロセス・リエンジニアリング（BPR）の核心である最新情報テクノロジーの理論および実践について、6回のテーマで実施。第5回以降は、以下のテーマで行われます。参加ご希望の方は、本会告に掲載されております行事申込書に必要事項をご記入の上、お申し込みください。多数の参加をお待ちしております。

会 場 工学院大学 3F 312教室（東京都新宿区西新宿）  
 参加費（1回分） 会 員 18,000円 非会員 25,000円 学 生 2,500円  
 申込書通信欄に第何回のセミナーをご希望かを必ず明記ください。  
 ＊参加費には資料代が含まれています。  
 資料のみ 5,000円（1回分）  
 申込書通信欄に第何回のセミナー資料をご希望かを必ず明記ください。

## 〔第5回〕平成7年1月19日（木）新世代データベースシステム技術の展望

- ・セッション1 [10:00～11:15]  
 マルチメディアデータベースシステム技術の展望 増永良文（情報大）
  - ・セッション2 [11:30～12:45]  
 ダウンサイジングにおけるデータベースシステム技術 田中 豪（NTT）
  - ・セッション3 [14:00～15:15]  
 オブジェクト指向データベースシステム技術の展望 牧之内顕文（九大）
- パネルディスカッション [15:30～17:30]  
 マルチメディアデータベースシステム技術の現状と将来  
 コーディネータ：増永良文（情報大）  
 パネリスト：牧之内顕文（九大）、有澤 博（横浜国大）、鶴岡邦敏（NEC）  
 井上 潮（NTT）、石川 博（富士通研）

## 〔第6回〕平成7年3月9日（木）インターネットの新しい展開

- ・内外のインターネットの現状
  - ・インターネットの新しいサービス
  - ・インターネットの新しい技術
  - ・パネルディスカッション
- コーディネータ：石田晴久（東大）

講演者が決定次第ご案内いたします。

内容が多少変更される場合がございます。ご了承ください。

## 「情報メディア・シンポジウム '95 情報・生命・人間」参加者募集

ーマルチメディア・ハイパーメディア、情報と身体との関わりを探るー

マルチメディア、ハイパーメディアの時代は人間がその身体性を喪失する時代でもある。バーチャルリアリティはその旗手である。そしてついには人工生命が産み落とされる。人間そして生物は、コンピュータ技術が生むこの人工生命とどう異なるのか。人間や生物は人工生命とどのような関係を持つべきなのか。

生命は生まれ、成長し、次世代への生命を育み、やがて老いて死ぬ。子供時代の私たちは生身の身体を遊んだ。大人へと成長し情報との関わりを増やしてきた。人間を取り巻く文化、労働と遊びに象徴されるインタラクション、環境からの摂取と排泄、それら全てへの倦怠、そして終焉としてむかえる死。

生命が行うサイクルを探り、生命が取り組む活動を観察することが情報と身体との関わりの本質を解き明かすヒントになるかもしれない。

技術だけのコンピュータの陰に隠されていたものたちを根源から考え直してみたい。

日 時 平成7年2月16日(木) 10:00~18:00

2月17日(金) 10:00~17:30

会 場 工学院大学 3F 312 教室

(東京都新宿区西新宿 1-24-2, JR 新宿駅下車西口より徒歩 10 分, Tel.(03)3340-9829)

主 催 情報処理学会 情報メディア研究会

参加費 情報処理学会員 15,000 円 非会員 18,000 円 学生 2,000 円 (いずれも論文集を含む)

論文集のみ 3,000 円 (送料込)

申込方法 本号会告欄の行事申込書を郵送または Fax. で送付のこと。

申込締切 平成7年1月30日(月)

照会先 (社)情報処理学会「情報・生命・人間」シンポジウム係

申込先 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7F

Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534

## プ ロ グ ラ ム

2月16日(木) 9:30 受付開始

「第1セッション:文化と身体」[10:00~15:00]

- ・開会のあいさつ
- ・マーケティングと身体
- ・電腦と身体

田中 譲 (北大)

岡林みどり (ポーラ文化研究所)

布施英利 (評論作家)

昼休み [12:00~13:00]

- ・進むシステム化と仮想現実
- ・メディア「箱庭」の中の身体

芹沢俊介 (評論家)

広瀬通孝 (東大)

「第2セッション:遊びと倦怠」[15:00~18:00]

- ・幼児の笑いとその意味
- ・かくれんぼと人間存在
- ・人工生物との交流

友定啓子 (山口大)

中川香子 (聖和大)

村上公一 (富士通)

2月17日(金)

「第3セッション:生と情報」[10:00~17:30]

- ・人工生命・進化・死
- ・「甘え」と高度情報化社会

佐倉 統 (横浜国大)

中山 治 (教育心理学)

昼休み [12:00~13:00]

- ・老いと情報
- ・Literature:the last thing of the information world
- ・パネル討論:友達としてのコンピュータ

山折哲雄 (宗教学)

テッド・ネルソン (ハイパーラボ)

司会:野々垣旦 (富士通アプリコ)

## IEEEとの協定締結についてお知らせ

このたび、米国 IEEE とわが国の電気・情報関連5学会（電子情報通信、照明、テレビジョン、情報処理、および電気各学会）は、各々の学会の自主・独立性を尊重しつつ、相互の学会間の情報交換を推進し、会員相互の交流を深めることにより、国際的な理解と協力関係の進展を図るということで合意に達し、去る8月30日につきの協定に調印しました。具体的には、今後、各学会ごとに IEEE および各 Society との間で取り決めることとなっています。

なお、情報処理学会は、IEEE-CS（Computer Society）と Affiliate Membership の取決めを結んでおり、当学会会員は准会員の特典を得ておりますが、この取決めについては従来どおりです（IEEE-CS の特典の内容は本誌11月号会告欄を参照）。

## 協力に関する協定書（和訳）

The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. (IEEE) および 電子情報通信学会・照明学会・テレビジョン学会・情報処理学会・電気学会

この協定書は、各々の学会の自主・独立性と双務性を基本として結ばれたものである。電気・情報関連学会と IEEE は、技術情報の交換と公開の推奨、および相互の会員の理解と協力関係を押し進めるために、つぎの合意に達した。

## 1. 会員の訪問

電気・情報関連学会の会員が、IEEE が支部を有する海外を訪問する場合、または、IEEE 会員が日本を訪問する場合、1年を越えない期間にわたり相手方の学会の会員に準じた扱いを受け、同一の条件で施設の利用、サービス、企画への参加の機会を受けることができる。

## 2. 協同事業

電気・情報関連学会と IEEE は、特定の項目に関する契約がある場合はその契約に基づき、会議、フォーラム、出版、歴史編纂、標準化、教材等の合同プロジェクト、催し、資料作成に参加することができる。環境保護と維持、児童への数学と科学の教育、一般社会に対する技術への理解の促進、技術者とその職業へのイメージ改善について調査を行い、これらの協同事業にとりかかることが望ましい。

電気・情報関連学会と IEEE のソサイエティは、個別の契約により会議共催、共同出版、論文の交換、翻訳等の協同事業に発展させることが望ましい。

## 3. 情報交換

電気・情報関連学会と IEEE は、個別の契約により特定の出版物の交換を行うことができる。国際会議の計画、スケジュールおよび主要行事についての情報交換を行うであろう。IEEE による日本における、あるいは、電気・情報関連学会による海外における主要な会議、行事を開催する際には、実施についての相談を互いに行うことができる。

## 4. 出版物

電気・情報関連学会または IEEE のいずれかの会員は、相手の学会の特定の出版物を割引額により購読することができる。出版物の割引額は、電気・情報関連学会と IEEE のソサイエティとの間で、個別の協定により規定するものとする。

## 5. 改訂、終結、更改

本協定書の改訂は、いつでも提案することができ、電気・情報関連学会および IEEE の双方の承認により有効となる。電気・情報関連学会と IEEE のソサイエティとの間で将来結ばれる協定は、本協定書の補遺として文書によるものとなる。この補遺協定書には、いずれかひとつの学会に所属する電気、電子、コンピュータ技術者は、双方の学会に所属することが望ましいという内容を付け加えることができる。

本協定書の有効期限は、1994年8月30日から1997年8月29日までの3年間とする。本協定書は、いずれかの学会の文書による通知により、3ヶ月後に協定を終結することができる。双方の合意により、協定の更新をすることができる。

IEEE 会長 H.トイネーグ  
照明学会 会長 齊藤 孝  
情報処理学会 会長 水野 幸男

電子情報通信学会 会長 宮津純一郎  
テレビジョン学会 会長 武田 康嗣  
電気学会 会長 岡 久雄

1994年8月30日

## 論文賞候補の論文推薦のお願い

平成6年度論文賞の候補論文を推薦される会員は、下記事項を参考のうえ、論文の題名、著者名、掲載巻号、論文の専門分野、推薦理由および推薦者住所氏名を官製はがきに記入のうえ、本学会論文賞係宛お送りください。

## [論文選定条件]

## 選定範囲および推薦数

平成5年10月から平成6年9月までの間に「情報処理学会論文誌」(Vol.34 No.10～Vol.35 No.9)に発表された論文の中から1編。

推薦資格 本学会正会員に限ります。

締切日 平成7年1月31日(火)

## 表彰規程(抜粋)

## 第3章 論文賞

第9条 論文賞は、本学会の機関誌に発表された論文のうち、とくに優秀なものを選び、その著者に贈呈する。

第10条 表彰する論文は、原則として毎年4編とするが、編数は事情により変更することができる。

第11条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の10月から前年の9月までの間に発表されたものであることを要する。

第12条 表彰する論文が共著の場合は、共著者全員を表彰する。

第13条 論文賞は、同一著者に重ねて授与しても差支えない。

第14条 論文賞は、賞状、賞牌および賞金とする。賞金は、論文一編につき50,000円とする。

## 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書(論文募集、参加案内等)の会告欄掲載については、下記により有料にて取り扱いますのでお知らせします。なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

## 記

## 掲載条件

| 件名    | 内容                                           | 掲載単位                  | 掲載料金                                       |
|-------|----------------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------------|
| 行事次第書 | 国際会議、シンポジウム、講演会、講習会等の論文募集・参加案内に限る。           | 1ページ<br>または<br>1/2ページ | (共催)<br>1ページ 50,000円<br>1/2ページ 30,000円     |
|       |                                              |                       | (協賛・後援)<br>1ページ 100,000円<br>1/2ページ 60,000円 |
| 教官募集  | 学校またはその附属機関、公益法人、官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。 | 1/5ページ                | 1件あたり 20,000円                              |

申込方法 任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先等を記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

## 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお、原稿作成にあたり様式(字の大きさ、ゴシック等)については、本学会会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

なお、フロッピーディスクまたはe-mailでも受け付けますので、ご相談ください。

申込期限 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金 掲載号発行後に料金を請求いたしますので、その翌月末までにお支払いください。

照会先 〒108 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

申込先 (社)情報処理学会 有料会告係 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534



本誌別冊  
 「The Rise of Software Industry and Technology in Asia-Pacific  
 — Software Beyond 2001 — A Global Vision」  
 頒布のお知らせ

学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では、ソフトウェア工学研究会と提携し、米国 IEEE および英国 IEE と同時発行の形で、12月5日に本誌初の別冊を発行しました。

日々発展するアジア・太平洋諸国のソフトウェア工学の現状と展望を、それぞれの国々における斯界の第一人者の方々に健筆を奮っていただき上梓した英文雑誌です。どうぞお買い求めください。

● ● 目 次

- The Rise of Software Industry and Technology in Asia-Pacific  
 — Software Beyond 2001 — A Global Vision  
*by Mikio Aoyama, Yoshiaki Fukazawa, Motoshi Saeki and Sadahiro Isoda*
- Software Engineering in Asia  
*by Sadahiro Isoda and Motoshi Saeki*
- Globalization of Software Supply and Demand  
*by Capers Jones*
- Problems, Methods and Specification  
*by Michael Jackson*
- Software Engineering in Australia  
 — A Brief Overview —  
*by Karl Reed*
- Software Engineering in China  
 — Past, Present and Future —  
*by Yu Chen and Meiqi Fang*
- A Perspective View of Development of Software Technology in India  
*by Naveen Prakash*
- Software Engineering Technology  
 — A Korean Perspective —  
*by Ki Won Chong and Dan Hyung Lee*
- Applications of Information Technology in Singapore  
 — Retrospective and Perspective —  
*by Danny C. C. Poo*
- Taiwan Faces Challenges in Its Development of Its Software Industry  
*by Y. S. Kuo and Lin-Shan Lee*
- Software Engineering in Thailand  
*by Vilas Wuwongse*

● 頒 価 2,000 円 (会員特価, 送料込) (B 5 判, 68 ページ)

● 申 込 先 〒 108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル 7 F  
 (社) 情報処理学会 図書係  
 Tel.(03)5484-3535 Fax.(03)5484-3534



## 平成7年度会費および論文誌購読費の納入について

今年もあとわずかとなり、会員の皆様には何かとご多忙中とは存じますが、来年も今年同様よろしくお願ひ申し上げます。

早速ですが、平成7年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を1月中旬に発送いたします。会費および購読費は前納を原則としておりますので、3月末日までにご納入いただきますようお願いいたします。

なお、平成6年度請求額に対する不足額のある方は、至急1月27日までにご納入ください。期日までに入金が確認できませんと、平成7年度役員選挙投票用紙は発送できませんのでご留意願ひます。また、3月号からの送本を停止いたします。（平成6年度会費未納者には9月号から送本を停止しております）

会費および購読費は平成6年度と同額で据置きです。

会 費： 正会員 9,600円 学生会員 4,800円  
論文誌購読費： 4,500円

注) 年度途中にご入会の場合

入会時に前納した会費は入会年度の会費としてではなく、入会月（送本開始月）から向う1ヵ年分の会費に充当する事になっておりますので請求額は下記のようになります。

$$\text{請求額} = \text{会費年額} \times \frac{\text{入会年度の送本月数}}{12}$$

[論文誌のご購読について]

「論文誌」（月刊）は有料頒布です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをお勧めいたします。新規購読を希望される方はその旨を振替用紙裏面の通信欄にご記入くださるか、本号添付の購読申込書によりお申し込みください。

[自動振替納入利用の会員の方へ]

会費および購読費を3月27日にご指定の口座から振替いたします。

振替金額は1月中旬にご通知いたしますので、預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご注意ください。振替された場合には、預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。

なお、平成7年度会費から自動振替を希望する正会員（一括扱いの会員は除く）の方は、「預金口座振替依頼書」（11月号本欄添付）によりお申し込みください。申込締切：平成7年1月31日（火） 事務局必着

[大学学部および修士・博士課程卒業予定の学生会員の方へ]

本年3月学部卒業（修士課程・博士課程終了）予定の学生会員の方には、平成7年度会費は正会員（9,600円）として請求いたしますが、修士課程・博士課程へ進まれる方は学生会員として継続できますので、会員番号、進学コース・修了予定年月等変更連絡をお願いします。

## 支部だより

### 北陸支部 講演会

日 時 平成6年1月18日(水) 15:00～17:00  
 会 場 NECソフトウェア北陸 2F MR-I, II (石川県石川郡鶴来町安養寺1)  
 演 題 「コンピュータウイルスとネットワークセキュリティ対策」  
 講 師 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 岡本 栄司 氏  
 参 加 費 無料(参加資格は問いません)  
 照 会 先 〒930 富山市五福3190 富山大学工学部 電子情報工学科内 情報処理学会北陸支部事務局  
 申 込 先 Tel.(0764)41-1271(ext.2707)または、  
 〒920-21 石川県石川郡鶴来町安養寺1 NECソフトウェア北陸 技術管理部 浜田幸二 Tel.(07619)3-4617

### 九州支部 講習会

講習会を下記の要領にて開催します。講師の方々には最先端の技術の動向と今後の展望をわかりやすく解説していただきます。多数の方々のご参加をお願い申し上げます。なお、定員(100名)になり次第締め切りますので、お申し込みは早めをお願いいたします。

テ ー マ マルチメディアの現在と未来  
 日 時 平成7年1月27日(金) 9:00～17:00  
 会 場 福岡大学セミナーハウス (Tel.(092)751-8141) 福岡市中央区六本松3-4-20  
 (西鉄バスで天神, 博多駅より六本松方面, 護国神社前バス停下車, 徒歩3分)

#### プログラム

|       |                                |             |
|-------|--------------------------------|-------------|
| 9:00  | 開会の挨拶                          | 安浦寛人(九大)    |
| 9:05  | 支部長挨拶                          | 安在弘幸(九州共立大) |
| 9:15  | マルチメディア時代の意味を考える—デジタル映像技術の視点から | 田村秀行(キャンノン) |
| 10:45 | 休憩                             |             |
| 11:00 | マルチメディア・データベースの現状と将来           | 牧之内顕文(九大)   |
| 12:00 | 休憩                             |             |
| 13:30 | インターネットでのマルチメディア応用             | 平原正樹(奈良先端大) |
| 14:30 | 教育の中のマルチメディア                   | 大槻説乎(九工大)   |
| 15:30 | 休憩                             |             |
| 15:45 | マルチメディアと社会の関わり                 | 栗原定見(NTT)   |
| 16:45 | 閉会                             |             |

参 加 費 会員4,000円(学生2,000円) 非会員5,000円(学生2,500円)  
 照 会 先 〒812 福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA 博多駅前ビル  
 申 込 先 NTT データ通信(株)九州支社総務担当内(魚澄) Tel.(092)475-5123  
 振 込 先 西日本銀行本店営業部 普通 1504334 情報処理学会九州支部講習会

### 東海支部 平成6年度電気関係学会東海支部連合大会論文集の訂正のご案内

- (1) S-16～S-38 (誤) 1993年度電気関係学会東海支部連合大会  
 の隔頁の頁頭  
 ↓  
 (正) 1994年度電気関係学会東海支部連合大会
- (2) S-37とS-45は差し違い。

照 会 先 〒460-19 名古屋市中区大須4-9-60 NTT 東海技術開発センター内 電子情報通信学会東海支部  
 Tel.(052)291-2466 Fax.(052)261-4940

## 教官募集



### ●産能短期大学能率科

募集人員 非常勤講師若干名  
 担当科目 パソコン, DB, プログラミング, OA関係  
 専門分野 経営情報, 情報処理  
 応募資格 大学・短大等での教育歴を有する方かこれと同等以上の能力を有する方  
 着任時期 平成7年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 職務経歴書  
 応募締切 平成7年1月6日  
 送付先 〒158 東京都世田谷区等々力 6-39-15 産能短期大学教務部教務課 鹿沼・植村  
 照会先 Tel.(03)3704-4011

### ●東邦大学理学部情報科学科

募集人員 助教授または講師1ないし2名  
 専門分野 計算機基礎(プログラム理論, 情報数学), コンピュータネットワーク, ヒューマンインタフェース(CG, VR, パタン認識)  
 応募資格 博士号取得者で35歳以下の方(コンピュータネットワークの経験者か関心のある方が望ましい)  
 着任時期 平成7年4月1日以降の出来るだけ早い時期  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(コピー可)  
 応募締切 平成7年1月20日  
 送付先 〒274 船橋市三山 2-2-1 東邦大学理学部情報科学科 本郷廣平  
 照会先 Tel.(0474)72-8048 Fax.(0474)75-1855

### ●立命館大学理工学部電気電子工学科

募集人員 教授または助教授2名  
 担当科目 情報通信工学関連科目, 電気電子系基礎科目等  
 専門分野 通信(システム, 理論), 情報システム(計算機, 情報処理)各1名  
 応募資格 博士号取得者で45歳までの方  
 着任時期 平成8年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度), 研究・教育に対する抱負  
 応募締切 平成7年1月31日  
 送付先 〒525 草津市野路町 1916 立命館大学理工学部電気電子工学科 中西恒彦  
 照会先 Tel.(0775)66-1111 (ext.8124) Fax.(0775)61-2663

### ●新居浜工業高等専門学校

募集人員 教授または助教 2名  
所 属 電子制御工学科, 数理科  
応募資格 博士号取得者で, 上記所属の前者は電子, 制御, 計算機工学のいずれかを専門とし実験担当も可能な方, 後者はプログラミング, 情報処理または応用数学を専門とする方  
着任時期 平成7年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(コピー可), 着任後の教育・研究に対する抱負(1000字以内)  
応募締切 平成7年1月31日  
送付先 〒792 新居浜市八雲町7-1 新居浜工業高等専門学校庶務課人事係 「教官応募書類」と朱書き書留  
照会先 電子制御工学科 武富大児 Tel.(0897)37-7764 Fax.(0897)37-7763

### ●筑波大学大学院経営システム科学専攻

募集人員 教授または助教  
担当科目 ソフトウェア工学  
応募資格 博士号取得者  
着任時期 決定後なるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編)  
応募締切 平成7年2月28日  
送付先 〒112 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学大学院経営システム科学専攻副研究科長 加古宜士  
照会先 経営システム科学専攻 橋田 温 Tel.(03)3492-6872 Fax.(03)3492-6829  
e-mail:hashida@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp

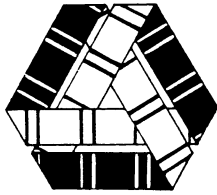
### ●山口大学工学部機械工学科

募集人員 教授1名  
所 属 機械システム大講座 機械情報工学教育研究分野  
担当科目 機械情報工学関連(機械情報処理学, 情報処理演習, 情報システム工学特論)  
専門分野 機械情報工学およびこれに関連する分野(機械の知能化, 画像処理, ヒューマンインタフェース, 計算機処理, 人間工学, CIM等)  
応募資格 博士号取得者で博士後期課程を担当可能な57歳以上の方  
着任時期 決定後なるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文, 口頭発表等, 項目別に分類), 論文別刷(各一部, コピー可), 今までの研究概要および今後の研究計画(各1000字以内), 推薦書, 健康診断書  
応募締切 平成7年3月31日  
送付先 〒755 宇部市常盤台2557 山口大学工学部機械工学科 河野俊一 Tel.(0836)35-9914 または,  
照会先 栗林勝利 Tel.(0836)35-9412 「教官応募書類」と朱書き書留

### ●松江工業高等専門学校情報工学科

募集人員 助教または講師2名  
専門分野 OS, 計算機システム, コンピュータネットワーク, ソフトウェア方法論, DB等  
応募資格 博士号取得者または取得に意欲的な30~40歳程度の方  
着任時期 平成8年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷  
応募締切 平成7年5月20日(適任者が得られ次第選考を開始することがあります)  
送付先 〒690 松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校情報工学科 日野和久  
照会先 Tel.(0852)36-5240 Fax.(0852)36-5256 e-mail:hino@lily.matsue-ct.ac.jp

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手90円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1.開催日 2.会場 3.問合せ先 4.その他

### 国際会議

#### 12th Int'l. Conf. on Systems Science (066)

1. September 12-15, 1995
2. Wroclaw, Poland
3. Prof. Jerzy Swiatek, Technical Univ. of Wroclaw  
Institute of Control and Systems Engineering  
Wybrzeze Wyspianskiego 27, 50-370 WROCLAW, POLAND  
Tel. +48-71-21-62-26 Fax. +48-71-22-36-64  
e-mail: j17@plwrtu 11.bitnet
4. Submission of Abstract: December 31, 1994

#### Knowright '95-Int'l. Congress on Intellectual Property Rights for Specialized Information, Knowledge and New Technologies (067)

1. August 21-25, 1995
2. Vienna, Austria
3. W. Grafendorfer Austrian Computer Society  
Wollzeile 1-3, A-1010 Vienna, Austria  
Tel. +43-1-512-02-35 Fax. +48-1-512-02-35-9  
e-mail: ocg@vm.univie.ac.at
4. Submission of Papers: January 13, 1995

#### WSI '95-Int'l. Conf. on Wafer Scale Integration (068)

1. 1995年1月18日～20日
2. サンフランシスコ, フェアモントホテル
3. 北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究所  
堀口進 Tel. (0761)51-1265 Fax. (0761)51-1149  
e-mail: hori94@jaist.ac.jp
4. 参加費: IEEE 34US\$ 学生 255US\$

#### 第2回「アジア学術会議～科学者フォーラム～」

1. 平成7年2月6日(月)～9日(木)
2. 三田共用会議所(東京都港区)
3. 日本学術会議事務局学術部情報国際課  
Tel. (03)3403-6291 Fax. (03)3403-5731

#### ICSC '95-Computer Science Conf. Image Analysis Applications and Graphics (070)

1. December 11-13, 1995
2. Hong Kong
3. Prof. R T Chin, Department of Computer Science  
Hong Kong Univ. of Science and Technology, Clear Water Bay, Kowloon Hong Kong  
e-mail: roland@cs.ust.hk

#### ICLP '95-第12回論理プログラミング国際会議 (071)

1. 1995年6月13日(火)～17日(土)
2. 湘南国際村センター(神奈川県葉山町)
3. 第12回論理プログラミング国際会議 広報委員長  
田中二郎 Tel. (0298)53-5343 Fax. (0298)53-5206  
e-mail: jiro@is.tsukuba.ac.jp

#### ソフトウェア/アルゴリズムの権利保護に関する日米シンポジウム (072)

1. 1995年3月10日(金)～11日(土)
2. パシフィコ横浜
3. 主催:(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会  
問合せ先: 東京工業大学工学部経営システム工学科  
今野浩 Tel. (03)5734-2371 Fax. (03)5734-2936
4. 参加費: 会員 10,000円 非会員 15,000円

### 国内会議

#### 平成6年度第IV期教育講座「マルチメディア情報処理コース」

1. 平成7年2月7日(火)～9日(木)
2. (財)神奈川科学技術アカデミー(川崎市高津区坂戸)
3. (財)神奈川科学技術アカデミー 教育部教育研修科  
Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2026
4. 申込締切: 平成7年1月23日(月)

#### 第27回人工知能セミナー「非線形情報処理」

1. 1995年1月23日(月)
2. 日本ユニシス(株)中部支社教育センター(名古屋市中区栄)
3. (社)人工知能学会事務局  
Tel. (03)5261-3401 Fax. (03)5261-3402
4. 参加費: 会員 18,000円, 非会員 30,000円, 学生 6,000円

#### 第28回人工知能セミナー「マルチエージェントの実問題への応用」

1. 1995年2月2日(木)
2. 日本ユニシス(株)赤坂ビル(東京都港区)
3. (社)人工知能学会事務局  
Tel. (03)5261-3401 Fax. (03)5261-3402
4. 参加費: 会員 18,000円 非会員 30,000円 学生 6,000円

#### 第12回「流体計測シンポジウム」

1. 平成7年1月19日(木)～20日(金)
2. 東京工業大学百年記念館(目黒区大岡山)
3. (社)計測自動制御学会  
Tel. (03)3814-4121 Fax. (03)3814-4699
4. 参加費: 会員 7,000円 学生会員 3,000円 会員外 9,000円  
会員外学生 4,000円

第3回交通・物流部門大会併設一鉄道技術連合シンポジウム

1. 平成6年12月6日(火)～9日(金)
2. 川崎市産業振興会館(幸区堀川町)
3. (社)日本機械学会  
Tel.(03)3379-6781 Fax.(03)3379-0934
4. 参加費:会員3,500円 学生員5,000円 会員外3,000円  
一般学生6,000円

ソフトウェア・シンポジウム'95

1. 1995年6月14日(水)～16日(金)
2. ラフォーレ琵琶湖(滋賀県守山市)

3. ソフトウェア技術者協会  
Tel.(03)3356-1077 Fax.(03)3356-1072
4. 論文応募締切:1994年12月20日(火)

第43回年次大会「工学・工業教育に関する研究講演会」

1. 平成7年7月26日(水)
2. 富山県民会館(富山市新総曲輪)
3. (社)日本工業教育協会  
Tel.(03)5442-1021 Fax.(03)5442-0241
4. 講演申込締切:平成7年3月中旬予定

編集室



会員の声

(学会誌10月号について)

・「そういえばTRONでのもあったなあ、と思いながら読んだ。システムソフト、ハードアーキテクチャ、と海外主導で進んできている今、TRONが広まるのは難しいかもしれないが、この<日の丸システム>密かに応援したいと思う。

(吉野克之/(株)日立製作所)

・かつてはかなり騒がれていたTRONプロジェクトだが、最近あまり聞かなくなったのでどうなっているのかと思っていた。プロジェクト当時は先駆的でコンピュータ社会を先取りしていた感があったが、なぜ今まであまりぱっとしなかったのだろうか。

(匿名希望)

・TRONというものがどういうものか大体つかむことが出来た。ただ、確かに生活が便利になるだろうとは思いますが、社会のあらゆるところにコンピュータを導入することによる弊害、悪影響というものはないのだろうか。人権の基本にかかわる部分に関しては注意が必要だとは書かれていましたが、それ以外の部分に関して何か考察されているのだろうか。

(匿名希望)



## 書評・ニュース募集のお知らせ

情報処理学会学会誌編集委員会では、学会誌「情報処理」に掲載する書評、およびニュースを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 つぎの2種類の記事について、原稿を募集します。
  - a) 書評—過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
  - b) ニュース—情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格 原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き 原稿は、本会所定の原稿用紙か、ワープロ等を用いる場合はA4判の用紙に22字×44行の字詰めで書いて、応募先あてにお送りください(電子メールの場合も同じ字詰め)。
  - 1) 表題—書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。ニュースは、見出しを書く。書評、ニュースの別を左肩に書く。
  - 2) 評者名・所属・評者連絡先(住所、Tel., e-mail等)の記載を忘れずに。
  - 3) 本文—書評は1900字前後で、ニュースは1000字前後で書く。
  - 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表を付ける。
  - 5) 筆者の自己紹介、氏名、会員の種別、経歴などを書く。(投稿時に顔写真は不要)詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1994年6月号掲載)を参照してください。
4. 原稿の取扱い 投稿された原稿は学会誌編集委員会で審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。書評の場合は評者の顔写真を掲載しますので、掲載決定後に写真を送っていただくことになります。
5. 問合せ・応募先 原稿用紙の購入先、原稿の送付先、および問合せ先は次のとおりです。

(社)情報処理学会 書評係 〒108 東京都港区芝浦 3-16-20 芝浦前川ビル7F  
Tel. (03) 5484-3535 Fax. (03) 5484-3534 e-mail:matumoto@ipsj.or.jp

## 海外からの送金方法について

海外からの会費、論文誌購読費、各種行事参加費、各種図書購入費等については、円またはドルの銀行小切手により送金されていますが、次のような問題があります。

1. 銀行小切手作成の手間がかかる。
2. ドル送金の場合は為替相場の変動により、常に過不足を生じ、経理上支障がある。
3. 円またはドルに拘らず、1,500～2,500円の換金手数料をとられる。

この点を改善するため、海外からは [VISA][MasterCard][American Express]および[Diner's Club]により円建て送金できるようにしました。なお、申込書様式は下記のとおりで、A4判用紙を用い必ず郵送してください(Faxは不可)。

If you wish to pay with your credit card, please fill in the following form and mail it back to the Information Processing Society of Japan.

To: INFORMATION PROCESSING SOCIETY OF JAPAN  
 Shibaura-Maekawa Bldg.7F, 3-16-20, Shibaura, Minato-ku Tokyo 108, JAPAN  
 Phone : +81-3-5484-3535 Fax : +81-3-5484-3534

I wish to pay with my credit card.

Circle one :  MasterCard  VISA  American Express  Diner's Club

- (1) Card number \_\_\_\_\_
  - (2) Expiry date \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_
  - (3) Full name of holder as it appears on the card  
 (Membership Number \_\_\_\_\_)
  - (4) Amount \_\_\_\_\_ Japanese Yen
  - (5) Details (annual fees, journal, etc.)  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
  - (6) Mailing address  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_
- (City) \_\_\_\_\_ (Postal Code) \_\_\_\_\_ (Country) \_\_\_\_\_  
 Phone \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_  
 Date \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_  
 Signature \_\_\_\_\_

Note: The fees can also be paid by cash or by bank draft. In the case of bank draft, please add the handling charge ¥1,500 to the total amount. We cannot accept personal check.

Remit to : Information Processing Society of Japan

Bank account no.046 - 1013945

Toranomon Branch, The DAI-ICHI-KANGYO BANK, LTD.